

福 議 委 号
平成30年11月14日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

経済福祉常任委員会
委員長 熊 野 茂 夫

所管事務調査報告書の提出について

福島町議会定例会9月会議（平成30年9月19日）において決定した、休
会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により、下記の
とおり報告する。

記

| | |
|-------------|---|
| 調査事件 | 9 行政評価（事務事業評価）について |
| 調査期間 | 平成30年11月6日（1日間） |
| 出席委員 | 委員長 熊 野 茂 夫 副委員長 花 田 勇 委員 杉 村 志 朗 委員 平 沼 昌 平 委員 平 野 隆 雄 委員 溝 部 幸 基 |
| 欠席委員 | な し |
| 委員外議員 | な し |
| 出席説明員 | な し |
| 議会事務局 職員 | 事務局長 阿 部 憲 一 次 長 鍋 谷 浩 行 主 査 谷 藤 悟 |

[委員会意見]

調査事件 9 行政評価（事務事業評価）について

（平成 30 年 11 月 6 日調査）

町では、まちづくり基本条例第 20 条第 2 項の規定に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、平成 29 年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例第 10 条第 2 項の規定による決算説明資料として議会に提出しています。議会のチェック機能の強化と併せて翌年度の予算へ反映させることを目的に、それぞれの事務事業について議会としての評価を実施したものであり、評価方法・結果を次のとおり報告する。

【評価方法】

議会による行政評価（事務事業評価）要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した 4 段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としている。

【評価内容】

（1）評価結果

議会としての最終評価（29 件）及び説明は、下表のとおり。

●平成30年度 議会による行政評価（事務事業評価）結果表

| 事務事業名 | 町の評価内容 | | | | | | 議会の評価 | |
|-----------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------|----------|----------|-------|---|
| | 必要性 + 有効性 | 達成度 + 効果性 | 項目別 点数 評価 | 一次 評価 | 二次 評価 | 最終 評価 | 評価 | 説明 |
| No.15 戦没者追悼式事業費 | 5 | 3 | A | A | A | A | ○ | 遺族会とも協議のうえ、戦争の無い平和の誓いを全町的に 行う行事として新たな展開の 検討が必要です。 |
| No.16 社会福祉費 | 4 | 2 | A | A | A | A | ○ | 引き続き高齢者や低所得者の 生活安定のため、社会福祉業 務全般について適切に執行願 いたい。 |
| No.17 高齢者行事費 | 5 | 2 | A | A | A | A | ○ | 全町的な行事の継続について は評価します。今後とも趣向 を凝らし参加者に楽しんでい ただけるよう期待します。 |
| No.18 在宅福祉事業費 | 5 | 2 | A | A | A | A | ○ | 老人クラブの活発な活動に期 待します。 |
| No.19 吉岡総合センター管 理運営費 | 4 | 2 | A | A | A | A | ◎ | 利用者のニーズに合った適切 な管理運営に努められたい。 |
| No.20 学童保育費 | 6 | 3 | A | A | A | A | ○ | 教育委員会と連携し、特色を 持った運営を期待する。 |
| No.21 ごみ減量化対策費 | 7 | 0 | B | B | B | C | △ | 可燃ごみ排出量は減少してお らず、生ごみの水切りの徹底 や住民が実行しやすい効果的 な対策を進められたい。 |
| No.22 保育所費 | 7 | 3 | A | A | A | A | ○ | 教育委員会と連携し特色のある 認定こども園を期待する。 年齢バランスを考えた正職員の 採用を検討願いたい。 |
| No.23 社会福祉総務費 | 6 | 3 | A | A | A | A | ○ | 社会福祉業務全般について、 適切に執行願いたい。 |
| No.24 重度心身障がい者等 タクシー料金助成事業費 | 5 | 4 | A | A | A | A | ○ | 引き続き適切に執行願いたい。 |
| No.25 老人福祉費 | 5 | 3 | A | A | B | A | ○ | 検証を行い、高齢者に対する 利便性のある事業として一本 化することも必要ではないか。 |
| No.26 健康づくり推進費 | 6 | 2 | A | A | A | A | ○ | 健康づくり推進員と保健師が 連携しながら日常生活の中で 健康に対する意識の醸成を促 す活動に力点を。 |
| No.27 医療対策費 (保健衛生総務費) | 5 | 1 | B | A | A | A | △ | 毎年貸付実績がない状況であ り、要因を分析し、今後の対 応を検討すべき。 |
| No.28 医療対策費 (医療対策費) | 7 | 3 | A | A | A | A | ○ | 広域的な取り組みを進められ たい。 |
| No.29 老人保健費 | 7 | 3 | A | A | A | A | ○ | 在宅リハビリ（作業療法士等 の配置）を充実させるための 検討が必要です。 |

| 事務事業名 | 町の評価内容 | | | | | | 議会の評価 | |
|------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------|----------|----------|-------|---|
| | 必要性 + 有効性 | 達成度 + 効果性 | 項目別 点数 評価 | 一次 評価 | 二次 評価 | 最終 評価 | 評価 | 説明 |
| No.30 活性化センター管理 運営費 | 5 | 1 | B | A | B | B | ○ | 地域文化の活動拠点としての 利用と、食や歴史等の町内外 への情報発信を期待する。 |
| No.31 多面的機能支払交付 金事業費 | 5 | 2 | A | A | A | A | ○ | 地域活動組織と連携し、円滑 な事業展開を期待する。 |
| No.32 熊等による被害対策 費 | 6 | 3 | A | A | A | A | ○ | ハンター後継者の確保に努力 し、捕獲後の処理負担を軽減 するための協力体制の構築と 助成金の増額を検討すべき。 |
| No.33 利子補給事業費 | 8 | 3 | A | A | A | A | ○ | 関係機関と連携し、円滑に事 務を進められたい。 |
| No.34 水産加工振興協議会 補助費 | 6 | 2 | A | A | A | A | ○ | 原料不足と価格高騰のため、 当該補助の検証をしながら、 基幹産業に対する振興策を検 討願いたい。 |
| No.35 水産多面的機能発揮 対策事業費 | 5 | 2 | A | A | A | A | ○ | 活動組織と連携し、円滑な事 業展開を期待する。 |
| No.36 漁村環境改善総合セ ンター運営費 | 5 | 1 | B | C | C | D | △ | 福島は改修しながら現状維持 に努められたい。吉岡につい ては評価対象から外すべきで ある。 |
| No.37 労働諸費 | 9 | 3 | A | A | A | A | △ | 福島職業援護相談所の在り方 を含めて抜本的な事業の見直 しが必要です。 |
| No.38 地場産業開発研究事 業費 | 6 | 1 | B | A | A | A | △ | 事業の硬直化、固定化が見ら れることから構成団体・事業 者の主体的参画を喚起する対 応が必要である。 |
| No.39 観光振興費 | 8 | 1 | B | B | B | B | △ | 当町の観光事業の実態とし て、観光協会やまちづくり工 房が単独での体制確保は困難 であり、早期に町の方針を示 し、体制の充実を図るよう指 導・助言されたい。 |
| No.40 横綱記念館管理運営 費 | 5 | 2 | A | A | A | A | ○ | 九重部屋あつての記念館とい うことを意識し、貴重な資料 を無駄にすることなく両横綱 の偉業を顕彰し大切に引き継 いでいく努力を。 |
| No.41 特産品センター管理 費 | 8 | 3 | A | A | A | A | ○ | 道の駅としての評価が低い現 状を踏まえ、内容充実を図る ための再検討が必要です。 |
| No.42 青函トンネル記念館 管理運営費 | 7 | 2 | A | A | A | A | ○ | 情報発信が不足している。イ ベントも含めて積極的な施設 の利活用を考え、第2の青函 トンネル構想などの企画展示 に積極的に取り組まれたい。 |
| No.43 街灯料助成事業 | 7 | 3 | A | A | A | A | ◎ | 他の公共施設等のLED化も 期待する。 |

【来年度の評価に向けて】

現状の評価方法の達成度、効果性では適切な評価とならない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした評価方法全般について改善を検討されたい。